

2021 年度事業報告

1. 研究発表会・セミナー・公開講演会等の開催

(1) 研究発表会

1) 本部: 第73回大会

5月28～30日神戸女子大学*1、演題登録は口頭発表114題、ポスター発表120題で、参加者は709名であった。

*1:新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンライン開催とした。

2) 支部: 研究発表会、卒業論文・修士論文発表会等を開催

東北・北海道支部	9月11日*1
関東支部	2月11日*1
中部支部	9月4日*2、2月19日*1
関西支部	11月18～24日(質疑応答期間)*2
中国・四国支部	10月3日*1
九州支部	10月16日*1

*1:新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンライン開催とした。

*2:新型コロナウイルス感染拡大防止のため誌上開催とし、要旨集掲載をもって発表成立とした。

3) 部会: 研究発表会を開催

家政学原論部会	8月21・22日*1
生活経営学部会	8月27日*1
家族関係学部会	10月9日*1
食文化研究部会*2	4月10日、6月12日、7月10日、9月11日、11月21日(研究大会)、12月11日、1月8日、2月12日、3月12日
服飾史・服飾美学部会	3月5日*1

*1:新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンライン開催とした。

*2:新型コロナウイルス感染拡大防止のため、月例会・研究大会も含めてすべてオンライン開催とした。

(2) セミナー

1) 本部: (新) 第5回家政学夏季セミナー

9月13日にオンラインで実施、公開講演会(基調講演)、関連講演と質疑、午前・午後でのべ130名の参加があった。

2) 部会:

家政学原論部会	8月21・22日
食文化研究部会	(8月の夏期特別研究会を中止)
被服材料学部会	8月21日*1
被服衛生学部会	8月30・31日*1
被服心理学部会	8月25日*1、2月26日*1
色彩・意匠学部会	8月26日*1
家政教育部会	8月23日*1、3月26日*1

*1:新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンライン開催とした。

3) 若手の会: 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンライン上で学術交流セミナー(12月5日)および科研費・学振獲得セミナー(3月4日)を開催した。

(3) 公開講演会・シンポジウム等

1) 本部: 第73回大会時に開催(5月29・30日)*1

公開講演会、シンポジウム、教育講演、国際交流委員会・若手の会共催セミナー、家庭生活アドバイザー認定証交付式・講演会、東日本大震災生活研究プロジェクト活動報告、スポンサーズセミナー

*1:新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンライン開催とした。

2) 支部: 公開講演会を開催

東北・北海道支部	9月11日*1
関東支部	4月24日*1、9月16日*1、10月9日(若手)*1
中部支部	9月4日*1
関西支部	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
中国・四国支部	10月2日*1
九州支部	10月16日*1

*1:新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンライン開催とした。

3) 部会:公開講演会を開催

生活経営学部会	8月27日*1
家族関係学部会	10月9日*1
被服構成学部会	9月19日*1、2月20日*1
被服衛生学部会	12月12日*1
色彩・意匠学部会	3月4日*1
服飾史・服飾美学部会	3月5日*1
家政教育部会	8月23日*1

*1:新型コロナウイルス感染防止のため、オンライン開催とした。

大会企画を開催

家政学原論部会	5月30日*1
被服整理学部会	5月30日*1
服飾史・服飾美学部会	5月30日*1
住居学部会	5月30日*1

*1:新型コロナウイルス感染防止のためオンライン開催とした。

4) 若手の会:第73回大会時に国際交流委員会との共催でセミナー(5月30日)を開催した。*1

*1:新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンライン開催とした。

2. 学会誌・その他の図書の刊行

(1)本部

1)学会誌:「日本家政学会誌」72巻4号～12号及び73巻1号～3号(12回)を各2,500部発行し、J-STAGEで公開した。

【掲載された論文の種類・部門別編数内訳及び総ページ数】

種別	巻号	第72巻									第73巻			掲載された論文数合計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
種別	報文	2	1	3	1	2	2	3	3	4	2	2	3	28
	ノート	0	2	1	0	0	2	0	1	1	1	0	0	8
	資料	2	2	0	3	2	0	2	1	0	2	2	1	17
部門別編数	原論・経営									1	1	1	3	
	児童・家族			2	1						1		4	
	食物	2	2	2	2	2	2	4	3	2	3	3	30	
	被服	2				2	1	1	2	1			9	
	住居		1		1		1					1	4	
	教育・その他		2							1			3	
合計	4	5	4	4	4	4	5	5	5	5	4	4	53	
ページ数	43	52	54	42	38	52	55	50	53	49	42	48	578	

【投稿された論文の部門別内訳】

▲減少 (編)

部門	原論・経営	児童・家族	食物	被服	住居	教育	その他	合計
2020年度	5	16	50	19	7	13	0	110
2021年度	5	13	32	10	3	7	0	70
増減	△ 0	▲ 3	▲ 18	▲ 9	▲ 4	▲ 6	0	▲ 40

【審査が終了した論文の内訳】

(編)

内訳	掲載済	印刷中	著者取り下げ	却下	合計
2021年度	40	13	13	24	90

【倫理審査実施論文の部門別内訳】

部門	原論・経営	児童・家族	食物	被服	住居	教育	その他	合計
倫理審査	2	2	3	2	1	1	0	11
審査伺い	1	1	1	3	0	1	0	7
合計	3	3	4	5	1	2	0	18

倫理審査:審査を実施した論文

審査伺い:倫理審査不要、前回投稿時の倫理審査を引き継いでよい、と判断された論文

参考:2020年度 倫理審査21件、審査伺い10件 計31件

2) 第73回大会研究発表要旨集を900部発行し、J-STAGEで公開した。

(2)支部:以下の要旨集等を刊行した。(データ送信含む。)

東北・北海道支部	「2021(令和3)年度研究発表会要旨集」
関東支部	「第24回家政学関連卒業論文・修士論文発表会要旨集」

中部支部	「第 65 回(2021 年度)大会要旨集」 「第 22 回家政学関連院生・学生研究発表会要旨集」
関西支部	「2021 (令和 3) 年度研究発表会要旨集」
中国・四国支部	「2021 (令和 3) 年度研究発表会要旨集」
九州支部	「2021 年度(第 66 回) 研究発表会要旨集」

(3)部会:以下の部会誌・研究誌、セミナー要旨集等を刊行した。

家政学原論部会	「家政学原論研究」(No.55;J-STAGE 上に公開) 「2021 年家政学原論部会夏期セミナー発表要旨集」
生活経営学部会	「生活経営学研究」 「生活経営学部会夏期セミナー報告要旨集」
家族関係学部会	「家族関係学」(機関誌発行と J-STAGE 公開) 「家族関係学セミナー 公開シンポジウム・自由報告要旨集」 「家族関係学部会ニュースレター」 「家族関係学部会メールマガジン」
児童学部会	「児童学研究」
食品組織部会	「食品組織部会会報」
食文化研究部会	「会誌食文化研究」
被服材料学部会	「被服材料学部会部会報」 「被服材料学部会夏季セミナー要旨集」
被服構成学部会	「被服構成学部会誌」
被服衛生学部会	「被服衛生学」 「被服衛生学セミナー要旨集」 「被服衛生学部会遠隔講演会要旨集」
被服心理学部会	「被服心理学部会夏季セミナー要旨集」 「被服心理学部会春季セミナー要旨集」
色彩・意匠学部会	「色彩・意匠学部会会報」 「色彩・意匠学部会夏季セミナー要旨集」 「色彩・意匠学部会春季公開講演会資料集」
服飾史・服飾美学部会	「服飾史・服飾美学部会報」
家政教育部会	「家政教育部会ニュースレター」

(4)若手の会:学術交流セミナー要旨集を刊行した。(データ送信した。)

3. 研究及び調査の実施

(1)本部:東日本大震災生活研究プロジェクトでは、研究調査の活発化を図り、めぐみ野地区約 1,200 戸のアンケート調査を本年度もおこなった。また、「たべる つくる 石巻 秋冬版」を出版した。

(2)支部:中部支部若手の会で日本家政学会第 73 回大会にて「中部支部若手の会における活動のあゆみと特徴」をポスター発表した。中部支部若手の会で勉強会:「筆の里 嵩山(すせ)工房の見学・体験」を実施した。

(3)部会:研究会、調査等を実施した。

家政学原論部会	食文化研究部会	被服構成学部会
色彩・意匠学部会	服飾史・服飾美学部会	家政教育部会

4. 研究の奨励及び研究業績の表彰

(1)本部

1)2021 年度日本家政学会賞として以下の通り表彰した。

学会賞:後藤景子氏、峯木真知子氏

奨励賞:藤本明弘氏

功労賞:小川宣子氏、戸田泰男氏、平田道憲氏

2)活動助成として以下の支部、部会に助成を行った。

支部:関東支部、九州支部

部会:家政学原論部会、生活経営学部会、家族関係学部会、児童学部会、被服材料学部会、被服構成学部会、被服衛生学部会、被服心理学部会、色彩・意匠学部会

3)支部活動活性化サポートとして以下の支部に助成を行った。

関西支部、九州支部

4)第 73 回大会活性化提案企画として以下の部会および若手の会に助成を行った。

部会:家政学原論部会、被服整理学部会、服飾史・服飾美学部会、住居学部会

(2)支部

1)東北・北海道支部:

- ①2021 年度若手会員および学生研究者への研究助成において審査の結果 3 件の研究に対して研究助成を行った。
- ②2021 年度研究発表において優れた学生発表 2 件に対して表彰を行った。

2)関東支部:

- ①家政学関連院生・学生研究の発表者に発表奨励賞を授与した。

3)中部支部:

- ①若手の会の活動に奨励金を支給した。
- ②日本家政学会誌に優れた論文が掲載された若手研究者 1 名に中部支部論文奨励賞を授与した。
- ③家政学関連院生・学生研究発表会発表者 2 名に中部支部院生・学生発表奨励賞を授与した。

4)中国・四国支部:

- ①若手研究者 2 名に中国・四国支部賞を授与した。

5)九州支部:

- ①若手研究者 1 名に九州支部賞を授与した。

(3)部会

1)家政学原論部会:各地区会に研究活動費を補助した。

2)生活経営学部会:各地区会および若手の会に研究活動費を補助した。

3)食文化研究部会:石川松太郎食文化研究奨励賞を 1 名に授与した。

(4)若手の会

1)学術交流会セミナーにおいて、感謝状を 3 名に授与した。

5. 家庭生活アドバイザー資格認定事業

1)資格取得のための第5期研修会と資格試験を、オンライン形式で実施した。

2)資格保持者のための資格更新研修と活動報告会を、オンライン形式で実施した。

3)資格の周知及び資格取得促進にむけた活動の一環として、リーフレットを作成した。

4)今後の資格のあり方について継続して検討した。

6. 内外の関連学協会等との連携及び協力

(1) 本部

1)国際交流委員会:国際家政学会(IFHE)・アジア地区家政学会(ARAHE)の組織や大会に関する広報、IFHE・ARAHE との連携活動、国際交流委員会 HP の更新、メルマガへの情報発信などの活動を行った。

2)関連学会との交流:日本学術会議健康・生活科学委員会家政学分会及び関連学会と連携して、生活科学系コンソーシアムへの活動を推進した。

3)学協会関係:生活科学系コンソーシアムのメンバーとして、(一社)日本調理科学会、(一社)日本繊維製品消費科学会、日本家庭科教育学会他、関連学協会との事業の共催、情報の交換等を行った。 住居学部会として、日本学術会議健康・生活科学委員会家政学分会でのシンポジウムへの参加を推進した。

4)公益信託家政学研究助成基金:総数 3 名(うち学会員 2 名)に対し研究助成された。

5)生活やものづくりの学びネットワーク:関連学協会と連携して生活やものづくりの学びネットワーク公開フォーラム(9 月 26 日)、春の学習交流会(3 月 27 日)を ZOOM にて開催し、年に 2 回の会報「生活やものづくりの学びネットニュース第 21 号、22 号」を刊行した。

7. その他の目的を達成するために必要な事業

(1)総務委員会:

1)学会賞の選考基準、就業規則の改正を行うとともに、家政学原論部会規約及び投稿規程及び執筆要領の改正を規程等集に収載するなどの見直しを行った。

2)オンラインによる会議・業務が円滑に遂行できるよう環境整備に努めた。

3)オンライン会議用に Zoom ミーティングのライセンスを取得し、委員会・部会等が利用できるようにした。

(2)財務委員会:

- 1)財務関係書類の点検を行い、課題を検討した。
- 2)公認会計士事務所との情報交換を行い、財務処理の課題事項に関する確認と情報を得た。

(3)情報管理委員会:

- 1)国立情報学研究所の「家政学文献索引データベース」サービスの年度末終了を受け、返却されたデータベースを5月にホームページ上でダウンロードできるようにし、会員にアナウンスした。
- 2)国立国会図書館からのインターネット資料収集保存事業(WARP)の要請に対し、ホームページの収集・保存、WARPでの公開を承諾、進めるのにあたり、全支部、部会、若手の会に対して、収集・保存の意向を確認した。その結果、全支部、若手の会、希望のあった以下の支部を追加して、承諾の返答をした。(家政学原論部会、生活経営学部会、家族関係学部会、児童学部会、被服構成学部会、被服衛生学部会)
 - 3月8日、ならびに9月22日時点のホームページの収集・保存をWARP上で確認した。
- 3)著作者が自身の著作物全文を複製、翻案、翻訳の形で他の著作物に利用する場合に事務局に事前に提出しなければならない「著作物全文利用申出書」を作成し、ホームページ上でダウンロードして利用できるようにした。
- 4)ホームページは毎月2回更新した。
- 5)メールマガジンを41回(うち関東支部5回)配信した。

(4)編集委員会:

- 1)シリーズ原稿の新企画として「新しい生活様式と家政学」を加えた。
- 2)査読の迅速化に努めた。
- 3)校正手順の点検と見直しを行った。

(5)刊行委員会:住居学部会による「住まいの百科事典」を4月に刊行した。

(6)若手の会:

- 1)幹事の役割、企画等の見直しや検討を行った。

8. 本部、支部及び部会の総会等の開催

(1)総会

1)本部:2021年度代議員総会、5月29日、オンライン開催 出席者66名(代議員46名、理事・監事20名)

2)支部:

通常総会	東北・北海道支部*1	関東支部*2	中部支部*3
	関西支部*3	中国・四国支部*4	九州支部*2
臨時総会	関東支部*2	関西支部*3	

- *1:新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面及びメール審議により開催した。
- *2:新型コロナウイルス感染拡大防止のため、web開催した。
- *3:新型コロナウイルス感染拡大防止のため、メール審議とした。
- *4:新型コロナウイルス感染拡大防止のため、web審議とした。

3)部会:

通常総会	家政学原論部会*1	生活経営学部会*1	家族関係学部会*1	児童学部会*1
	食品組織部会*2	食文化研究部会*4	被服材料学部会*2	被服整理学部会*2
	被服構成学部会*2	被服衛生学部会*1	被服心理学部会*2,*3	色彩・意匠学部会*3
	服飾史・服飾美学部会*3	家政教育部会*2	住居学部会*1	
臨時総会	被服衛生学部会*1			

- *1:新型コロナウイルス感染拡大防止のため、web開催した。
- *2:新型コロナウイルス感染拡大防止のため、メール審議とした。
- *3:新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面による開催とした。
- *4:新型コロナウイルス感染拡大防止のため、小規模の会場を設け、オンライン方式を併用して開催した。

(2)理事会、役員会等

1)本部:理事会4回(うちweb会議3回、ハイブリッド会議1回)、臨時理事会4回(うちweb会議2回、電磁的方法2回)、
 会長副会長会9回(うちweb会議8回、ハイブリッド会議1回)
 第73回大会にかかる事後処理検討会8回(うちweb会議6回、対面会議2回)

2)支部:

東北・北海道支部	支部役員会 3回(メール審議)
関東支部	支部役員会 5回(4回はweb会議、1回はメール審議)
中部支部	支部役員会 3回(web会議)、臨時役員会 1回(メール審議) 支部役員連絡会 2回(web会議)
関西支部	支部役員会 4回(うち1回はメール審議、3回はweb会議)
中国・四国支部	支部常任幹事会 6回(書面会議5回、web会議1回)
九州支部	支部役員会 5回(うち4回はメール審議、1回はweb会議)

3)部会:

家政学原論部会	常任委員会 10回(web会議2回、メール審議8回)、 新旧役員会 1回(web会議)
生活経営学部会	常任委員会 7回(メール審議1回、web会議6回)、 部会役員会 1回(web会議)
家族関係学部会	部会役員会 2回
児童学部会	2回(メール審議1回、web会議1回)
食品組織部会	1回
食文化研究部会	11回(web会議)
被服材料学部会	部会幹事会 1回(メール審議)
被服整理学部会	1回(メール審議)
被服構成学部会	4回(web会議)
被服衛生学部会	3回(web会議)
被服心理学部会	2回(web会議)
色彩・意匠学部会	3回(web会議)
服飾史・服飾美学部会	3回
住居学部会	1回(メール審議)
家政教育部会	4回(web会議)

4)若手の会: 幹事会 1回、大会企画 3回(web会議)

(3)各種委員会

1)本部:

役員選挙管理委員会	4回
財務委員会	2回(web会議、メール審議)
企画・広報委員会	1回(web会議)
国際交流委員会	3回(web会議)、大会企画 3回(web会議)
編集委員会	4回(web会議)
研究発表審査委員会	1回(web会議)
学会賞選考委員会	2回(web会議、メール審議)
功労賞推薦委員会	1回(web会議)
家政学夏季セミナー実行委員会	8回(メール審議)
家庭生活アドバイザー資格認定委員会	6回(web会議、メール審議)

2)支部:

東北・北海道支部	選挙管理委員会 3回(うち2回はメール審議)
関東支部	若手の会幹事会 4回(うち3回はメール審議)
中部支部	若手の会役員会(ミーティング) 2回(うち1回はweb会議)、中部支部奨励賞 選考委員会 2回(メール審議1回・web会議1回)
関西支部	若手の会幹事会 3回(web会議)
九州支部	第74回年次大会実行委員会 7回(web会議) 支部賞選考委員会 2回(メール審議)

3)部会:

家政学原論部会	編集委員会 5回、選挙管理委員会 2回、編集関連特別委員会 4回(web会議)
家族関係学部会	編集委員会他 10回
児童学部会	会誌編集委員会等につき随時メール及びweb会議
食品組織部会	大会企画実行委員会 1回、出版企画委員会 3回
食文化研究部会	会誌編集委員会 7回、奨励賞選考委員会 3回、「コロナ禍における食生活」 企画委員会 5回、文献目録検討委員会 6回
被服材料学部会	夏季セミナー実行委員会他 5回(メール審議)
被服整理学部会	部会企画および夏季セミナー実行委員会 4回(メール審議)
被服衛生学部会	セミナー実行委員会 7回(メール審議他)、企画委員会 3回(メール審議)
被服心理学部会	セミナー実行委員会他随時メール及びweb会議
色彩・意匠学部会	公開講演会実行委員会他 5回(メール審議)

服飾史・服飾美学部会	企画委員会他3回
住居学部会	出版企画編集委員会のメール審議
家政教育部会	セミナー実行委員会他3回(メール審議)

9. 会員

会員の状況(2022年3月31日現在)

	正会員	(永年会員)	学生会員	海外会員	賛助会員	計	前年度との増減
東北・北海道	165	(14)	6	-	-	171	▲4
関東	918	(47)	58	-	-	976	▲29
支部 中部	217	(5)	3	-	-	220	▲11
関西	388	(13)	22	-	-	410	▲22
中国・四国	204	(8)	30	-	-	234	▲11
九州	151	(8)	12	-	-	163	▲6
名誉会員	13	-	-	-	-	13	1
海外会員	-	-	-	6	-	6	▲5
賛助会員	-	-	-	-	33	33	▲2
会員種別合計	2,056	(95)	131	6	33	2,226	▲89
前年度との増減	▲64	2	▲18	▲5	▲2	▲89	

▲減少

10. 附属明細書に関する事項

2021年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しません。